

交差点は、人や車など様々な人々が利用する大切な場所。しかし交通事故発生件数の約60%が交差点とその付近で起きているのです。交差点は絶えず複雑に表情を変化させていきます。その交差点には様々な“死角”が潜み、事故を引き起こしているのです。

この映画では、事故事例を検証し、ドライバーが、死角には常に危険が潜んでいると考え、的確な運転行動をとれる様に、危険予測の運転法をC・Gを交え、解りやすく具体的に描き、安全運転を訴えます。

## 映画の内容

年間100万件を超える交通事故発生件数の約60%余りが、交差点及び交差点付近で起きています。交差点は人や車の触れ合いの場所。その大切な場所で“どうして事故が多発するのか？”実際に起こった事故を分析し、どうすれば事故を防ぐことが出来るのか検証してみよう。

## ■交差点が作る死角

## ◇事故事例 信号機のない交差点での出会い頭事故

Aさんは“いつも通る道、車は来ない”と一時停止無視、Bさんは“こちらは優先道路”と徐行運転を怠った結果の事故でした。

住宅の塀などで見通しが悪いこのような交差点では、死角の陰に危険があると考え、例え優先道路であっても、いつでも止まれる徐行運転を心がけることを訴えます。

## ■車を作る死角

## ◇事故事例 先行する大型車に追従し、対向右折車との右直事故

大型車に追従して走行していたCさんは大型車が死角となり赤信号を見落とし。右折待ちのDさんは、大型車の後ろから車は来ないと思い込み発進。事故は起きました。

死角となった大型車を挟んで、お互いが死角に潜む危険となっていたのです。車間距離を取り、自ら死角に入らないこと、そうすれば前方を確認でき、相手からも自分が見られ、確認される結果となります。

右折待ちのDさんも、大型車が作り出す死角の陰から別の車が追従してくるかもしれないと考え、大型車の通過を待って、一呼吸置くことで、安全を確かめる余裕ができ、事故を防ぐことが出来るのです。

## ◇その他の事例

## 左折、右折時に前車を作る死角による、対歩行者・自転車事故

## ■車の構造が作る死角

## ◇事故事例 交差点左折時の追突事故

Eさんは左折時に、右からの歩行者は確認したものの、左からの歩行者はピラーが死角となり発見が遅れ、慌てて急停止したため、後続車に追突されたのです。

ドライバーは、車を持つ死角により左側が確認できにくく、“左折時こそ左側により注意を向ける”事が大切です。また後続のドライバーは前車に続いて左折する時、“前車が急に止まるかもしれない”と予測し、ただ漫然と運転しないことです。

## ■見通しの良い交差点でも出会い頭事故が多発

ゆったりと広がる田園地帯。何故こんな見通しの良い交差点で事故が多発するのでしょうか。

田園の一本道。視線を左右に動かさず正面だけを見て運転していると、相手車両は視野の中で一定の位置に留まっているような錯覚により発見が遅れ、極端な場合交差点の手前10mまで接近しても発見できないケースが生じます。また車が少なく信号も無いことから、気が緩み、漫然運転が原因と考えられます。

+

+

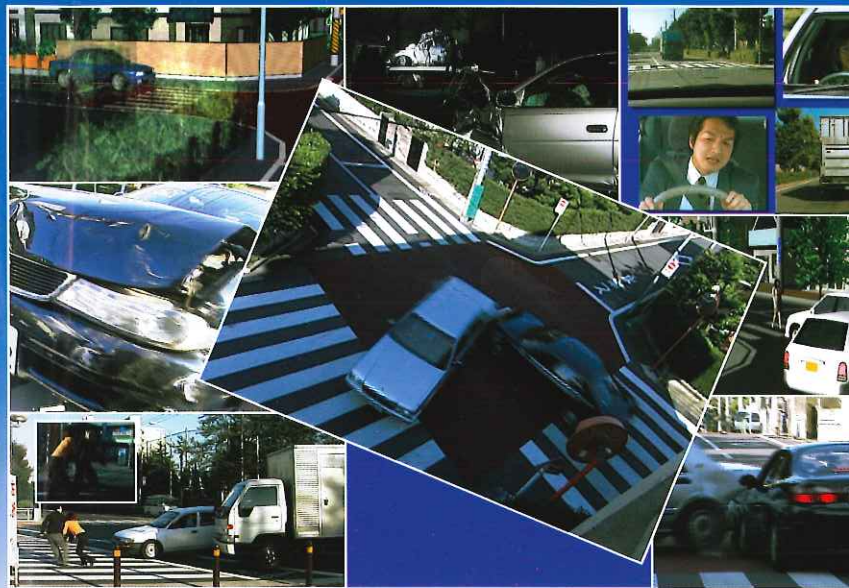
+

交差点には様々な死角があり、その陰に“見えない危険”が常に存在します。死角が無いからと油断して漫然とハンドルを握ると、心に死角を作り事故を誘発するのです。更に、信号を見落とすドライバーもいる危険も考え、相手を見ると同時に、相手からも自分が見られる事が危険を作らない方法なのです。

交差点は人や車等様々な人々が行き交う場、ドライバーには危険を素早く予測し、回避する技術が求められている。

多発する  
多発する  
交差点事故多発する  
交差点事故

## — 事故事例に学ぶ危険予測 —



COLOR

15分

片面・一層

MPEG2

複製不能

4:3

DOLBY  
DIGITAL

DVDビデオは映像と音声を高密度に記録したディスクです。DVDビデオ対応のプレーヤーで再生して下さい。

★著作権に関するご注意 このディスクを無断で複製、改変、放送、有料上映することは著作権法で禁止されています。

企画・製作：新生映画株式会社 〒150-0042 東京都渋谷区宇田川町6-20 パラシオン渋谷403  
DVD制作：パナソニック映像株式会社

SEDV-106  
MADE IN JAPAN

SEDV-106